

インターネットの落とし穴 (4)

今回がインターネットの落とし穴の最終回です。

コミュニケーショントラブル、ネットストーキング、金銭的トラブル、有害情報などと書きましたがインターネットはこれまでに無い可能性を秘めたものではありませんが、それと同じほど注意すべきものではないかと考えます。インターネットを使うとこれまでいろいろと努力をしなければ手に入らなかった情報、例えば、専門書を本屋、図書館で探したいろいろな専門知識、旅行ガイドの本が一般的であった旅行情報、カタログが中心の製品情報などが画面に向かって必要な情報のキーワードをいければ検索することができ、さらに最新のものを得ることができるのです。レコード(CD)についても音楽データ配信が始まり、また、映画についても必ずといっていいほど新しい映画のホームページが作られています。居ながらにして、音楽や映画などの世界中の最新情報が簡単に手に入ります。確かに、こちらから得ようとしてインターネットを活用する場合はこれほど有効な手段は無いかもしれません。しかし、インターネットは一方向的に情報を得るだけのものではありません。使う場合いろいろな情報がネット上に発信されています。検索するための検索データもそうですし、もちろんショッピングモールでの購入する場合の個人データ(クレジットカードデータを含む)以外にも、アンケートの回答データ、ユーザ登録データも含まれます。また、端末がネットに接続されているわけですから、十分な対策を行っておかなければ、侵入されることも考えられます。特に常時接続環境が一般化してきた現在どのような侵入をされるかはわかりません。常時接続しているということは1つのグローバルIPアドレスを持つこととなります。もちろん普通のダイヤルアップの場合でもグローバルアドレスはもつのですが、接続している間だけのアドレスであるため大きな問題ではありません。しかし、常時接続では付けられたグローバルのIPアドレスがそのままになってしまうためそのアドレスに対して外部から侵入することができるようになります。入られてしまっても個人なら盗まれる情報もないしと考えがちですが、実際はなかなかそうはいきません。侵入できるということは、ファイルを送り込めるということですから、自分の端末内のデータ改ざんだけでなく、送り込まれたプログラムによって他の端末やネットワークに侵入したり、メールアドレスに登録されている先にウィルス付きのメールを送信したりすることもできます。有料サイトにアクセスしてデータをダウンロードすることになれば知らないうちに料金の請求が来ることにもなります。

インターネットには無限の可能性があるとされています。実際そうだとは思いますが、そのリスクについて考えたうえで使っている人はどのぐらいいるのでしょうか。国民総背番号制についてその導入の是非が話題になっていたのはいつごろでしょうか。いつのまにか既成事実となり、全国をネットワークで結び全国民にカードを配布するようなことが目になっていきます。いろいろとメリットはありますが、個人が名前だけでなく番号であらわすことができる以外にデメリット、リスクがあるのも事実です。インターネットの落とし穴として、コミュニケーショントラブルなどを説明してきましたが、実際はもっと大きな落とし穴が待っているような気がするのはいかがでしょうか。技術者が考え作り出そうとしているこれからの社会は便利なものになるのですが、便利になる中で何かが忘れられていってしまわないことを祈りたいと考えます。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 5月7日号

特集 ケータイ・ソフト開発人海戦術の破綻

→携帯電話は内部のソフトで動いている。これまではハードウェアで成り立っていたものが、iモードなどの導入によってデジタル家電の急先鋒としてソフトの比率が高くなっている。開発体制を見直し、職人芸から水平分散へと開発手法を変えなければ対応できなくなっている。

○日経パソコン 5月14日号

特集 セキュリティの常識、新常識

→パソコンを使っているとさまざまな脅威にさらされる。身を守るには。セキュリティをしっかりとするにはどうすればよいか。データの守り方、情報管理の方法、攻撃の防ぎ方等の常識と、知っているようで知らない新常識に迫る。

特集 USB活用ガイド

→安くて簡単に、しかも高速につながるUSB。HDDからCD-R、MOなどの補助記憶からプリンタ、スキャナ、LANまで使用できる。それぞれについて現状を紹介。

○日経オープンシステム 5月号

特集 社内システム、次の一手

→インターネットがこれだけ普及してきたので、これを活用し業務拡大と社内プロセスの見直しを行おうとしたら、既存の社内システムがボトルネックとなることが増えてきている。一切を作り直すこともできず、これまでの社内システムの内容を再検討し、有効に利用するにはどうすればよいか。

検証 企業内ネットワークの再構築実態

→社内トラフィックの急増とIP-VPN (Internet Protocol-Virtual Private Network)を中心としたネットワークサービスの開始を機会に社内ネットワークの見直しが始まっている。その目的などの実態は。

○日経ネットビジネス 5月10日号

特集 ブロードバンドはもうかるか

→常時接続で超高速の「ブロードバンド」。韓国では急速に普及し、アメリカに追いつけ追い越せで進んでいる。FTTH、ADSL、CATVなどのインフラ整備と新しい宝探しとして、動画、音楽以外のコンテンツ配信も始まっている。

○DOS/V magazine 6月1日号

特集 Windows XPが変えるPCプラットフォーム

→次期WindowsであるXPはどんなOSで、どう変わったか。完全32ビットOSであるWindows XP。Windows Meの後継でもあるがWindows 2000の後継でもある。ビジネスクライアントとホームユーザーを統合して、ホームユーザ向けのHome Editionはビジネス

向けProfessionalのサブセット版で、ビジネス向けの機能が搭載されない。

特集 さらば440BX！PCパワーアップ講座

→PentiumⅡのチップセットであった440BXは長らくスタンダードの座にいたが、Pentium4の登場で買い替えの時期になってきた。

特集 シーン別デジカメ撮影術

→デジカメらしさを活かした撮影術の紹介。これまでのカメラではうまくいかなかったシーンでもデジカメなら可能ということもある。